



モチベーションを 引き出して 人材が伸びる会社へ

令和5年度 奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業
人材育成推進部門表彰

株式会社 M.T.C

代表取締役 森 久次さん
営業部部长 中西 真紀さん

人材育成への思いや取り組みについてお聞かせください。
森 会社にとって、人材は究極の財産です。いい人材を増やしていくことが一番大事なことだと思っているので、人材育成に力を入れています。その一環で、能力に応じてキャリアアップを支援する評価システムを導入しています。コンサルタントが構築したものに、我々の業務に合うように独自にカスタマイズした指標と方法を加え、キャリアアップを図りながら給料アップや働きがいにつなげていこうと従業員に説明しながら進めてきました。

どのような変化が起きましたか？

森 若手がみるみるうちに伸びてきました。やれば評価されることがおもしろいのでしょう。実際、ある工場の責任者は29歳です。

中西 上に立ちたい志向のある人は自分のスキルを伸ばして会社に貢献しようと前向きに取り組めますし、何でも吸収しようとする意欲が高いです。一方、今のままで十分という人もいて、個人差があると感じます。

森 以前は、入社からある程度年数が経てば、一律に役職を任せたり、給料を上げたりしていました。この方法だと若者が評価されづらい一方で、年数の長い職員の中には任せられた役職を重圧に感じる人もいました。能力に応じた評価システムなら、年齢に関係なく頑張れば給料も立場も上がります。若者・年数の長い職員両方の離職率を抑える効果もあるように感じています。

ほかにもどのような取り組みがありますか？

森 人材育成に関して言うと、作業支援システムやAI（人工知能）カメラによる製品チェック、社内の勉強会などがあります。作業支援システムは機械にある画面に操作手順が図で表示され、機械の使い方、製品の作り方が一目瞭然です。初心者、外国人、障がいのある従業員にも対応しています。勉強会は、外部の新人教育では総合的なことは学べますが、我々のような金属加工の製造業に特化した教育・研修はなかなかありません。

「じゃあ、自分たちでやろう」と。中西部長が中心になって準備をして、2023年度から実施しています。

中西 例えば、初めて使う機械の前に立たされて、はい仕事をして、と言われても、「無理です、できません、怖いです」となりがちです。けれど、機械のことを理解



したうえで使用すると何も怖くない。だから、まずは機械の勉強会を各部署で始めました。すると、機械に対して「怖い、無理」という声は聞かなくなりました。

人材育成のポイントや今後の目標をお聞かせください。

中西 会社組織をピラミッドで表すと、当社はなだらかなピラミッドのように思います。役職の上下や部門間の風通しの良さが人材育成には重要です。縦にも横にも垣根がなくなると、人材がいい方向へ伸びやすくなるのではないのでしょうか。

森 当社は奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業をはじめ、いろいろな認定、指定、表彰を受けています。それが信用の蓄積になり、当社を知ってもらったり、人材が集まったりするきっかけになります。会社のため、ではありますが、これからは「大和高田市のM.T.Cにできるのなら、うちにもできるはず」という企業や人が一社でも一人でも増えるといいなと思っています。社内でも「あの人ができるんだったら、自分も！」というふうに目標や憧れを持ってくれると、伸びていくモチベーションになるのではないのでしょうか。



会社 Data

株式会社 M.T.C

1968（昭和43）年、金属プレス加工（住設部品、鋼製家具部品など）を担う「森製作所」として創業。「より良い提案ができ、良きパートナーとして、求められる企業として存続する」を経営理念に事業を拡大し、2004（平成16）年に法人化。大手住設メーカーにユニットバス、デスク等の金属部品を供給するほか、建設備品や準医療機器部品、各種プレス加工・板金加工・溶接・組立なども行う。工程改善による生産性や技術・品質の向上に係る提案力と投資力が強み。経済産業省「地域未来牽引企業」、同「健康経営優良法人」（2021、2023、2024）、同「DX認定制度 認定事業者」（2023年7月/奈良県第1号）など選定・表彰歴多数。



所在地：〒635-0076
奈良県大和高田市大字大谷8番地1
代表取締役：森 久次
従業員：42名
TEL：0745-22-1410
URL：<https://mtc-nara.co.jp/>